

3月22日例会（ハイブリット開催）

## 『 外部卓話 』

おやまの小さな音楽教室 GELATO（ジェラート）

佐川 静香 様

スイスにおける音楽教育と音楽探究

高萩に住んでおります佐川静香です。知り合いの方もいらっしゃるだったので、ちょっとびっくりですが、私のこれまでの活動を通して皆様と共有出来るものがあたらなと思ってお話をしたいと思っております。出身は高萩、ずっと高萩市秋山に住んでいて、今はなくなってしまい寂しいが秋山保育所にいました。



その後、秋山小学校・中学校と行き、高校は日立二高の国際科に所属、国際科の時に日立 RC さんからタイに行かないかって

いうお話があり、私と同級生二、三人でタイに行ったことを思い出しました。ロータリーと繋がりがまだあったということですね。初めての外国、タイは英語とタイ語ですけども英語の話せるところだったので色々コミュニケーションを取り合っていました。タイから戻ってからも国際科なので、色々な外国の方々に来てホームステイやホストファミリーの方々との交流がありました。それが私の留学したきっかけになったかなと思います。皆さまは「リトミック」という言葉をご存知でしょうか？日本では幼稚園や保育園などで行われるものですが、私は一歳の時からリトミックを学んでいて、高校3年生の時に音大に行きたいと家族に話し、国立音楽大学に入学。

大学では音楽教育学科という学校の先生になれる場所を選び、リトミックを専攻、リトミックというのはピアノとかとはまた違って、常に体を動かしてダンスや演劇の勉強をするなど幅広く、音大という華やかな女の子がたくさんいる場所ですが、そこをジャージ姿で自転車でレッスンに通ったのを今でも覚えています。

卒業後は学校の教員になるか、音楽教室を自分で開くか、いろいろ考えたが、リトミックというものをまだ100%理解したわけではないと思い、スイスのジュネーブに急遽留学を決めることになりました。フランス語がまったく私はできなかったので、東京の御茶ノ水でフランス語の勉強を重ねました。とりあえずわかる単語レッスンで必要だろうと思う単語だけを覚え卒業と同時に行ってしまいました。ジュネーブの一年目はジュネーブ高等音楽院という音楽院入りしました。ここが私のびっくりしたところですが、留学生という感覚で私たちは見られませんでした。フランス語を普通に話しかけられるし、なんでこんなこともわからないのと、怒られることも多々ありました。

音楽教育・卒業試験

ピアノ科とか楽器とは違いリトミックは音楽教育というものになります。話しをしなくては、子供たちにレッスンができないので、どうしても言葉というのは避けられなかったのです。2年目はようやくいろいろなことが分かりアルバイトもしました。2年間で日本という大学で学士課程ってところを卒業します。私は、日本の音楽大学を卒業していたので飛び級ができ、3年目からは大学院修士課程に入ることになりました。そちらでは、論文をフランス語で書く準備をしなくてははいけないので、それを2年間かけて用意したって感じです。

月 日	プログラム	担 当	3 月 22 日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
3月29日	職場訪問例会(結農実 WORKS)	職業奉仕委員会			
4月12日	観桜例会	親睦活動・家族委員会	25	12	13
4月19日	PETS 報告	会長エレクト	出席率：100%		
4月26日	卓話	プログラム委員会	前々週訂正：100%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65  
常陽銀行高萩支店内

TEL/FAX：0293-24-0505

■URL：https://www.takahagirc.jp

■E-Mail：takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：大河原 浩  
幹 事：菱川 健司

例 会：水曜日 12:30～13:30：第2水曜 7:30～

公共イメージ向上委員会：石平光、小森勇一、大高司郎  
石君平、田所和雄、今川隆、平野浩司、滝徳宗

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

論文はフランス語で書くとはやっぱりとても難しく、それと同時に演劇の試験もあり舞台をつくらなくてはいけないので舞台も作ります。自分で照明、音響、そして振り付けも自分でします。すべて自分で舞台を作るという卒業式でした。何か休む暇はないというくらいハードな留学生活を送ったという感じです。

### 日本の音楽教師

ジュネーブで4年間過ごし戻りましたが、さあ、いざ仕事をどうするかという今まで避けてきた場所に直面します。私はどうしてもこの地元高萩が大好きだったので、地元で今まで経験したものを伝えたいと思ったが、やはり音楽を仕事にするのは非常に難しい場所です。お子さんも少ない、場所もあまりなく、どうしようかなと思っていた時に父が3部履歴書を用意しておきなさい。何があるかわからないからと、リトミックのチラシと履歴書をいつでも渡せるように用意しておきました。それでもやはり難しかったので、最終的に東京の法政大学の中学・高等学校で2年間、教員をしました。私立の高校で進学校ですから、とにかく勉強の連続でしたが、その中で自分の経験してきた音楽というものを届けようと思い、子供達と常に向き合った多様な2年間だったと思います。このまま、継続して行くだろうと思う時に、家族の中での転機がありました。父が癌になり最後だけ家族三人で過ごすことができたらそれで充分だという話で、学校を辞めて高萩に戻りました。最後三か月、末期で余命が無いって言われた状態だったので、一緒に付き添い、いろいろなお話をして父を看取ることができました。

### 音楽教室

私の夫はシンガポールの人です。留学先で出会いました。父が亡くなる3日前に婚姻届を出し父も安心したかのように感じました。そのようなこともあり、東京に行かずこちらの方で出来ることをやってみようと夫と一緒に、今の高萩にある音楽教室を立ち上げました。初めは十人しかいなかった教室が今は70人ぐらいになることができ、本当にありがたいなと思っております。ジュネーブでは、赤ちゃんからシニアの方まで幅広く教室が行なわれています。特に医療の世界でも医学的にも認められています。子供だけではなく、いろいろな方、演劇の方、体の不自由な方、シニアの方とかに応じたリトミックを経験してきた部分、今後たくさん伝えていけたらいいなと思います。これが私のこれまでのお話です。ご清聴ありがとうございました。

### 会長挨拶：大河原浩

3月19日ですが地区研修セミナーに参加して参りました。高萩ロータリークラブからは、私の他にガバナーノミニーの大高司郎さん、地区資金委員として石君平さん、IT委員として滝徳宗さん、ロータリーの友委員として小森勇一さん、そしてオブザーバーとして江尻寛さんの総勢6名が参加いたしました。地区研修セミナーは3大セミナーの最初のセミナーとなりまして、ここからはいよいよ大久保年度がスタートすることになります。次

年度のガバナー補佐や地区委員など、大久保年度に、地区を動かしていくメンバーが勢ぞろいしまして、研修を受け、それぞれ就任に向けて準備を整える機会となります。

地区研修セミナーの内容としましては、RIテーマと地区方針の発表が行われ、地区の危機管理や、戦略計画の説明、各委員会に分かれての分科会、各分区のガバナー補佐の紹介、各総括委員長の方針発表などが行われました。具体的な中身については、別途お知らせすることになりますが、来る大高年度には高萩ロータリークラブがこのセミナーを主催する事になりますので、私はその目線で参加しておりました。

看板の様子、参加者の席次、会場の設営の様子、運営の方法など、色々情報収集してまいりました。私が感じた印象としましては、参加者数が100名程になりますので、3大セミナーの中では比較的準備しやすいのかなと思いました。ただ、この他にも、地区会長エレクト研修セミナー、地区研修協議会が続けてもあり、間も短いので、全体を通してどう準備していくか時間的な事や人手をどう整理するか、考える必要があるなと思いました。

そんなことを考えながら参加していましたので、身が引き締まる1日となりました。

続きまして、本日のお客様は佐川様です。ようこそ高萩ロータリークラブにお越しくださいました。ありがとうございます。本日は卓話を頂きます、どうぞよろしく願いいたします。

### 幹事報告：菱川健司

1. いわき勿来 RC から会報が届く
2. 水戸南 RC、水戸西 RC、水戸 RC から会報が届く
3. 奨学生世話クラブについて
4. 米山奨学会から委嘱状
5. 第1回第一分区会長幹事会のお知らせ
6. クラブ会長エレクト研修セミナーにおいてのお知らせ

### 委嘱状交付：大平敏明 米山奨学生カウンセラー



奨学生：黄璽  
(コウジ)

茨城大学博士課程  
社会インフラシステム  
科学専攻

出身国：中国

期間：2023年

4月1日～2025年3月31日

### 地区チーム研修セミナー出席報告：小森勇一



セミナーに参加し、その所感をメモし、次年度大高年度にそなえたい。

1. ガバナーを支えるホストクラブの態勢

いつも例会をしているホテルが会場であるが、コーナーや入口に水戸クラブの会員がいることで、ホストクラブが存在することを示すのは大切と感じた。幸いなことに、120名の大クラブだが必要な人員で対応されていた。

## 2 地区のリーダー

次年度、地区のトップリーダーである大久保博之 DGE を押し出すセミナーであり、それに、現職の大野治夫ガバナー、大高司郎ガバナーノミニーが対応する、連携体制が重要なセミナーであった。

## 3 地区諮問委員 ガバナーを経験されたパストガバナー

普段は諮問委員の皆さんは活動の前面には出ないが、この諮問委員の方々（パストガバナー）が、伝統を継承し、総括と方向の提起を見守っていることがわかる。

## 4 地区役員

地区幹事 地区資金委員 ガバナーガバナー補佐 各奉仕委員会総括委員長

「ロータリーの友」委員などがガバナーを支える地区役員であり、セミナーでは、決意表明が求められた。



## 5 ガバナー補佐の任務

ガバナー制度に関する国際ロータリーの試験的プロジェクトの方向を見ると、ガバナー補佐の任務の重要性が増している。「アシスタント・ガバナー」という方向性が一層強化されてきている。



## 6 各奉仕委員会総括委員長の任務

総括委員長の発表があったが、活動の総括と次年度の課題提起について明確な方向性が求められる。

7 引き継がれてきた慣習、継承されていること、チェックすること ①会場構成では国旗、ロータリー旗、テーマ旗の位置などの確認②資料袋の記載 卓上ネームプレートのチェック③時間管理 タイムキープのやり方④資料の校正

## 地球環境保全フォトコンテスト：大高司郎

3 / 2 1 国際ロータリー第 2820 地区「地球環境保全フォトコンテスト」の報告



環境保全に対する活動や取組みの様子を写真で応募する、フォトコンテスト（期間：2022年8月1日から12月31日）の表彰式をつくば市内ホテルで開催されました。応募総数134点の中から見事、ガバナー賞（受賞者、佐藤ぱうろ様）1点、直前ガバナー賞3点、ガバナー補佐賞8点、特別賞1点の秀作が選ばれ入賞者と共に、表彰式が行われました。

## 【ニコニコ BOX】

大高司郎さん：WBC、おめでとう日本！やはり最後は大谷だ。

大河原浩さん：佐川様、ようこそ高萩ロータリークラブへ!!かん

べいします!!鈴木直登さん：サムライニッポン万々歳。やったやったオールジャパン。今日は佐川先生ありがとうございます。

石君平さん：佐川さん、よくいらっしやいました。卓話楽しみに

しています。侍ジャパン WBC 優勝おめでとう。小森勇一さん：

佐川静香さま、ようこそいらっしやいました。卓話ありがとうございます。

菱川健司さん：卒業シーズンを実感しております。

大平敏明さん：WBC 侍 JAPAN ブラボ!!祝金 3000円

江尻寛さん、鈴木国男さん、田所和雄さん

小谷松政紀さん、今川隆さん、滝徳宗さん

本日計 14,000円

累計 511,000円

## 【ロータリー財団】

本日計 3,000円

累計 445,194円

## 【ポリオプラス】

本日計 1,360円

累計 76,966円



## 【米山記念奨学会】

本日計 3,000円

累計 276,000円



## 【メイクアップ】

3月19日(日) 地区チーム研修セミナー（水戸市）

大高司郎さん、江尻寛さん、小森勇一さん、

石君平さん、大河原浩さん、滝徳宗さん

3月21日(火) 地球環境フォトコンテスト表彰式（つくば市）

大高司郎さん

## 【お客様】

ピアノ講師 佐川 静香 様